

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	令和新時代を拓く東山道×7 summitプロジェクト
事業主体 (連絡先)	阿智村 0265-43-2220
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,824,680 円

事業内容

阿智村を訪れる観光客から聞かれる昼間のコンテンツ不足の解消に向け、東山道や自然・山岳観光(トレッキング)に着目し、観光客の増加に取り組んだ。

3年計画の1年目として、今年度は看板設置や東山道パンフレット・セブンサミットのバッジ作成などに取り組み、観光客の受け入れ態勢を整えた。

また、セブンサミット達成者に阿智村を宣伝していただくインフルエンサーになるようにバッジとともにチラシを配布し、SNSに山の写真などを投稿するよう促している。



【達成者にバッジを配布する様子】

【目標・ねらい】

- ①阿智村の課題である日中の観光の解消
- ②セブンサミット達成者による阿智村の魅力発信

事業効果

①東山道と山岳観光に着目し、昼の観光コンテンツの充実とともに観光客の増加を図った。園原地区への入り込み客数については、前年比92%となった。(台風19号や天候不順の影響と考えられる)

②バッジ製作を行いセブンサミット達成者に交付するとともに、インフルエンサーとして村の宣伝を行っていた。

※バッジ交付数：令和元年の年間で79個交付

その結果、現在SNSでは1,000件以上の「阿智セブンサミット」のハッシュタグが付いた投稿がされている。

※自己評価【 B 】

【理由】

東山道及びセブンサミットの看板を統一したことと、地域周辺の観光資源を案内するパンフレットにより東山道や阿智村の観光スポットが巡りやすくなった。
セブンサミットのバッジを交付した登山者が、阿智村を宣伝する仕組みを作ることができた。

今後の取り組み

3年計画としてこの事業を進めており、2年目は引き続き東山道の整備を行い、受け入れ態勢を整えていく。中央アルプスの国定公園化が決まり注目が集まる中、セブンサミットの3座が中央アルプスに入っており、登山者の更なる増加や阿智村への来訪が期待できる。

さらに、今年度はハード整備等が事業の中心となっていたため、来年度はイベントや講習会などを積極的に実施することで、村内外に東山道の周知を行っていきたい。